



けやき

令和3年度 学校だより 3月号

桶川市立桶川東小学校

学校教育目標 未来へはばたけ けやきっ子 あかるく かしこく たくましく

児童数 1年 143人 2年 133人 3年 137人 4年 123人 5年 137人 6年 141人 ひまわり 6人 合計 820人
HP: www.okegawahigashi-es.ed.jp/

東小キャラクター
けやきん



オリンピックから学ぶ『有終の美』

校長 杉田 勝弘

今週から3月。いよいよ今年度も残り1か月となりました。

1年生から5年生は進級し、6年生は小学校課程を修了し、中学校へ巣立っていく時期となりました。進級や進学する子供たちにとって有終の美を飾ることは、とても大切で、そのことが次への夢と希望のあるスタートになると感じています。そこで、今月の全校朝会では次のようなお話をしました。

先月の2月に冬のオリンピックが行われていました。校長先生は、学校から帰ると毎日、オリンピックをテレビで見て、応援していました。

その中で、特に心に残っているのは、スピードスケートの高木美帆選手とノルディックスキー複合の渡部暁斗選手です。

高木選手は、5種目に出場しました。最後の5つ目の種目 1000メートルで力を振り絞ってゴールし、金メダルを取りました。オリンピック期間中に5種目も出場することで相当疲れていたと思いますが、最後まで力の限り全力を尽くす姿が心に残りました。

それからもう1人、渡部選手は、個人種目が終わり、最後の団体種目において、チーム4人のみんなの力で銅メダルを取りました。ゴールした後、インタビューで言った言葉です。「個人とは違って、団体は、仲間との絆が強く感じられる、チームでとるメダルは、最高だ」とインタビューで話していました。とても心に残っている2人です。

さて、いよいよ3月。今の学年・学級が終わるのも、残すところ1か月です。

そして、この1か月、桶川東小の一人一人が自分の目標に向かって、最後まで力を出し切ってほしい。また、学級の仲間と、最高だと言える1か月にしてほしいと思います。自分自身として、学級の仲間として、有終の美を飾りましょう。

交通事故ゼロをめざして

交通ルールを掲載しています。交通事故ゼロにしていきたいと思います。

『自転車に乗りながら、傘をさしたり、携帯などを操作したりしません。』

新型コロナウイルス感染防止策 ～3月～

3月24日の卒業証書授与式は、卒業生と教職員、各家庭1名の参加とし、ディスタンスをしっかりと取り、時間を短縮して実施します。

ご理解ご協力よろしくお願いたします。